第１１期中野区健康福祉審議会	資料２－１
第２回介護・高齢部会（2026/6/2 開催）	

令和7年度（２０２５年度）「中野区地域福祉計画」の進捗状況について

1 趣旨

「中野区地域福祉計画」（計画期間：令和6（2024）年度～令和10（2028）年度）の進捗管理のため、計画に位置づけた「主な取組」の進捗状況、実績について報告するものです。

2 進捗状況

（1）各施策の取組状況及び今後の課題の一覧については、資料２－２をご覧ください。
（2）それぞれの取組について、次の基準に拠り、所管による自己評価を行っています。

評価基準
○ 予定通り実施。または予定を変更して実施し、計画予定より効果が高かった場合
△ 予定を変更して実施し、計画予定または成果指標や令和6（2024）年度の取組に比べ、効果が低かった場合
× 実施しなかった。

（3）自己評価結果一覧

施策		取組数	自己評価
施策1	人権の尊重と権利擁護の推進	16	○評価：16、△評価：0、×評価：0
施策2	暮らしやすい生活環境の整備	5	○評価： 5、△評価：0、×評価：0
施策3	健康的な生活習慣の定着	13	○評価：13、△評価：0、×評価：0
施策4	交流の場や機会の充実	10	○評価：10、△評価：0、×評価：0
施策5	地域における支えあい活動の推進	12	○評価：12、△評価：0、×評価：0
施策6	多様な課題を抱えた人への支援	17	○評価：17、△評価：0、×評価：0
施策7	包括的な相談支援体制の充実	11	○評価：11、△評価：0、×評価：0
施策8	適切な福祉サービス・医療を受けられる環境整備	12	○評価：12、△評価：0、×評価：0

（4）成果指標の進捗状況

成果指標		計画策定時	現状値		目標値	進捗区分
		令和4年度（2022年度）	令和6年度（2024 年度）	令和 7 年度（2025 年度）	令和10年度（2028年度）	
施策1	国籍や文化、年齢、障害、性別などが異なる多様な人々が暮らす中で、人権や価値観が尊重されていると思う区民の割合	48.2%	44.6%	45.3%	66%	△
	虐待の通報・届出に対応できた割合	100%	100%	100%	100%	
施策2	ユニバーサルデザインの認知度	60.7%	73.9%	75.8%	75%	
	区内移動の快適性に関する満足度	61.2%	59.8%	57.3%	68%	△
施策3	自身の健康状態を「よい」と思う区民の割合	81.9%	―	80.2%	90%	△
	食べ物や食生活に関して栄養バランスや規則正しい食生活を心がけている人の割合	55.1%	―	55.7%	63%	
施策4	自分は他の人から孤立していると感じている区民の割合	17.1%	―	18.0%	17.1%	△
	住民同士の交流の場があると感じている区民の割合	29.7%	―	35.9%	40%	
施策5	地域活動を行っている区民の割合	20.9%	―	23.3%	25.0%	
	地域課題の解決に取り組む団体の新規立上げ支援数	17 団体 H30～R4の5年間の累計	54団体 R2～R6 の 5 年間の累計	65 団体 R3～R7 の 5 年間の累計	50団体 R6～R10の5年間の累計	
施策6	生活困窮者を対象とした就労支援を受け就労した割合	85.1%	61.8%	65.1%	85.1%	△
	自殺死亡率（10万人対）	16.1人 H30～R4の5年平均	17.6 人 R2～R6 の5年平均	16.4 人 R3～R7 の 5 年平均	14.4人以下	△
施策7	アウトリーチチームが対応して適切に支援につなげた割合	84.9%	82.1%	7 月確定予定	91%	
	家族や友人・知人以外で何かあったときに相談する相手、相談機関に「区役所等の公的機関」と回答する区民の割合	14.8%	―	15.5%	17.8%	
施策8	介護や病気で療養が必要になっても、医療、介護サービスや地域の見守り等の環境が整っていると思う区民の割合	59.5%	―	55.4%	71.5%	△

※進捗区分△：計画策定時または前年度の値から、現状値（令和7年度）が低下している指標